

大分県 令和7年度 学校事故対応研修

京都市における事故対応

~HANAモデルの実践について~

京都市教育委員会 体育健康教育室 主任指導主事 西田 鉄平

子どもの命を守りきる







具体的な対策

勤務先を思い浮かべ、具体的な対策がないか、考えましょう



具体的な対策

✓ 日常的な環境整備



図 遊びの内容に応じたスペースの確保

| 全体を見渡せる配置

✓『危険』の早期発見・声掛け

| 子どもと遊具の適合性の確認

✓ 過度な興奮状態の抑制



日常的な環境整備





日常的な環境整備



つまずいて転倒する 危険性



正しい使い方の指導



親指を回して持つ 3点固定





がの内容に応じたスペースの確保

- ▼ 狭いコートでの ドッジボール
- ▼ 鬼ごっこ







『危険』の早期発見声掛け



- ✓ 事故の未然防止
- ✓ 危険を発見した場合は、直ちに声をかける



子どもと遊具の適合性の確認

- ✓ 発達段階を考慮
- ✓ 転落に備えてマットなどを準備





過度な興奮状態の抑制



- ✓ 子どもが夢中になると事故が起きやすい
- ✓ 休憩を入れるなど の対策を



危機管理について



危機

事件・事故の発生

>>>>

災害

事前の危機管理 リスク・マネジメント



危機管理について



危機

事件・事故の発生

災害

事後の危機管理 クライシス・マネジメント



小4の男子児童が水泳の授業中に溺れて死亡、バタ足の練習中か…設備故障で中学校のプールを利用、別の児童2人が引き上げ



2024.7.6 KUTVテレビ高知 web記事より



夏季休業中の水泳指導



- ◆ 平成24年7月30日
- ◆ 低学年69人 (1年生-25人、2年生-19人 3年生-22人、育成学級-3人)
- ◆ 教員3人が監視、指導



プールの水位



◆ 1学期の授業時より、約20cm深くなっていた

◆ 深くなっている情報は共有されていなかった

◆ 当時、水位の管理、調整に関する具体的な基準、ルールがなく、各教員が相談するなど、各 自の裁量に委ねられていた





- 66
- ✓ 足のつかない深さのプールで児童が ビート板の下に潜り込んでしまい、その まま溺れたと推認
- ✓ 教員のプールの監視状況は油断に満 ちたものであり、学校管理者の教員に 対する指導にも問題

77





- 66
- ✓ 不意に少量の水を飲み、意識喪失
- ✓ 教員の誰も監視に専念しておらず、溺水の見逃しや発見の遅れにつながった
- ✓ 多くのビート板(16枚)を浮かべ、視 認性も悪かった
- ✓ 心拍の確認が不十分のまま胸骨圧迫 を一時中断するなど、救護の指揮役 がおらず、場当たり的な対応であった

「すべての児童の両 肩が水面から出る ラインを上限に」

「わずかな異常も見 逃すことのないよう、 適切な監視を怠ら ないこと」



「常にホイッスルを 携行すること」

「AEDなどの救命 救助道具・救命用 具・連絡用機器な どをプールサイドに 配置しておく」









HANAモデルについて:迅速な初動対応



HANAモデルについて: 迅速な初動対応



子どもの命を守りきる



7つの役割【本部】





- 全体の指揮命令
- 教職員招集
- 7つの役割の分担
- 教育委員会への報告
- ○今後の対応策検討

HANAモデルについて:組織的な対応



7つの役割 【現場対応】







- 児童・生徒を観察
- 〇 AED使用判断
- 救急車要請判断
- 一次救命措置
- 救急車へ同乗

HANAモデルについて:組織的な対応

7つの役割 【現場対応補助】





- 〇 AED使用準備
- 一次救命補助
- 現場記録
- ○本部への連絡

HANAモデルについて:組織的な対応

7つの役割【救急車対応】





- 救急車要請
- 保健調査票などの情報をコピーする
- 緊急車両進入門を開ける
- 救急隊へ状況説明
- 同乗者に保健調査票など の情報をコピーを渡す

7つの役割【児童・生徒対応】





- ○被災児童生徒以外の誘導
- 目撃児童・生徒への 聴き取り
- 情報の整理・伝達

7つの役割【保護者対応】





- (保護者への第一報
- 事実を伝える

7つの役割【保護者対応】



保護者への連絡例

「□□□さんのお母さんの携帯電話ですか。○○小学校の△△です。担任に代わってご連絡しています。」 ※わかっている事実のみを的確に。いつ、どこで何をしてどうなった。現場の対応の説明。

「例:落ち着いて聞いてください。2 校時後の休憩時間に、総合遊具で遊んでいて、○○さんが遊具の 3 段目から頭から落ちました。現在こちらの呼びかけに反応がなく、救急車を要請しています。また、教員が AED も使っています。」

※保護者は、取り乱していろいろと質問してくるが、わかっている事のみを伝える。「大丈夫です。」は禁句。

「かかりつけ医を教えてください。既往症などはありますか。」

※搬送先は、必要な処置内容やその時の医療現場の状況で受け入れ可能な病院が決まるが、既往症などの 関係で搬送先に配慮してもらえることがある。

「お母さん、学校に来ていただけますか。どれくらいかかられますか。可能あれば、保険証・医療受給者証をお 持ちください。」

※保護者が出先の場合、保険証等は取りに帰っていただく必要はない。

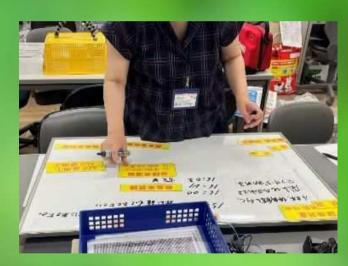
「また、この携帯電話は、学校からの連絡が受けられるようにいつでもつながるようにしておいてください。詳しい情報が入りましたら、この携帯電話にご連絡させていただきます。」

(伝達)「△△、保護者連絡しました。○○○○さんのお母さんは、()分くらいで学校に到着されるそうです。かかりつけ医は、▲▲▲病院だそうです。」

7つの役割【連絡・記録】





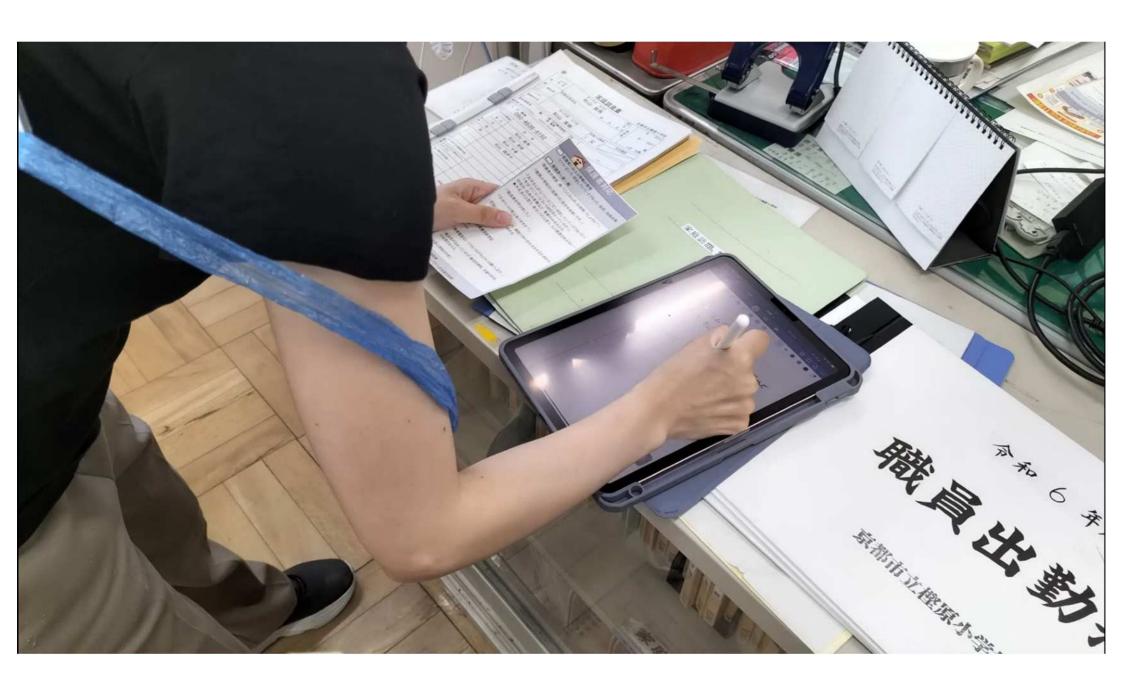


○ 現場からの情報の 記録



HANAモデルについて:正確な情報の収集



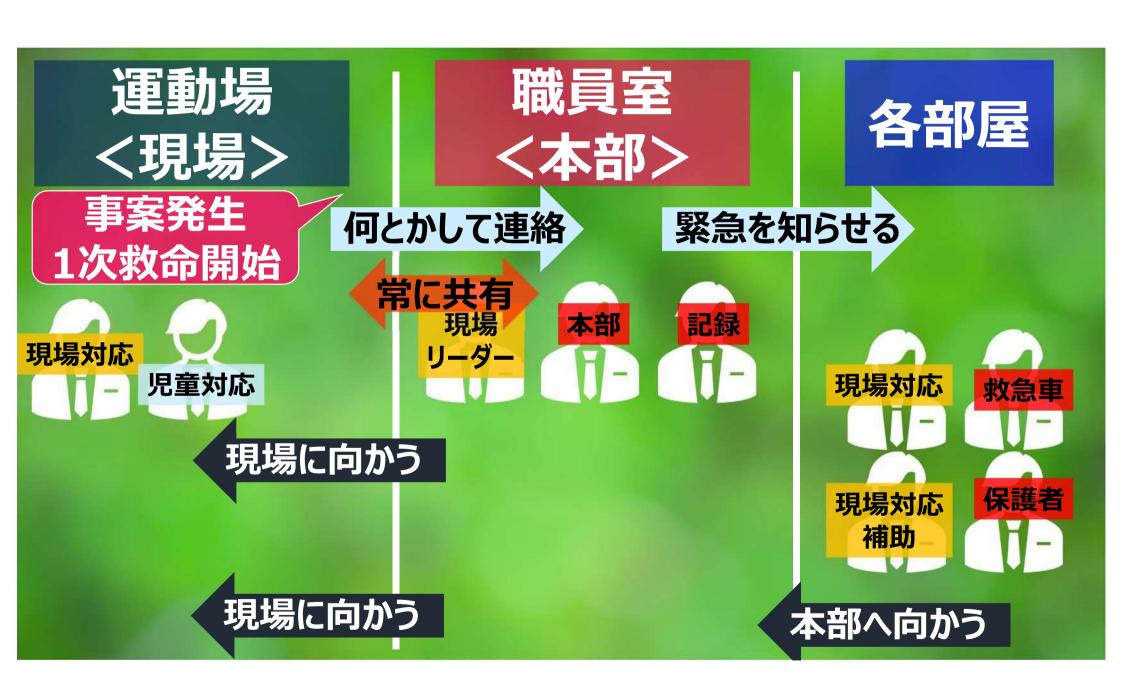


よくある質問として・・・

- ✓ 119はどこで行いますか
- ✓ スマートフォンは使用していいですか
- ✓ 保護者は現場を見せるべきですか
- ✓ 救急車には誰が乗っていけばいいですか
- ✓ 現場に一人しかいない場合どうすればいいですか

HANAモデルについて







子どもの命を守りきる



